

エス・パックス株式会社

平成 25 年度 補正予算事業

最新の印刷製函機の導入による 高速化で増産体制の確立

最新式の印刷製函機（フレキシフォルダグリア）の導入による高速化で、納期の短縮を行い、顧客の満足度アップを図るとともに、生産効率のアップ、コストダウンを図る。また、増産体制を確立し、競合他社に対する優位性を保つことを目的とする。



フレキシフォルダグリア

事業のきっかけと目的

Motivation

県外業者との競争が激しさを増す昨今、機械の高速化による増産体制の確立が喫緊の課題となっている。そのため、世界最高レベルのスピード・精度を誇る印刷製函機を導入し、生産能力の高速化と作業時間短縮を実現することで、競合他社に対する優位性を保つことができる。得意先からの飛び込みの注文に対しても対応可能となり、信頼関係をより緊密にすることも期待できる。

事業の取り組み内容と成果

Progress

印刷製函機の導入により、従来機の約1.5倍の平均生産を達成、版のセットは従来の7分から3分へと短縮でき、インキのロス は従来の半分以上に削減できた。人員は4名から1名減の3名で稼働可能となったため、余剰1名を人員不足の他マシンに配置換えし、人的資源の有効活用もできた。印刷出始め時や速度の加減によって発生していた印刷の濃淡も均一となった。

エス・パックス株式会社の思い



商品と一体化された様式の包装容器が要請されている今日において、私どもは地域に密着した企業としてお客様のご要望に即応できるよう企業体質の向上と競争力の強化に努め、ご満足いただける商品と、きめ細かい行き届いたサービスを安定供給することが使命だと考えております。



給紙部



印刷部



カウンタエゼクタ部

事業化に向けての今後の取り組み

Future

今日の包装容器は、ただ単に物流輸送保存用としての役割だけではなく商品の付加価値を高め、消費者の購買意欲に訴求する媒体として、包装形態やデザイン等のハイレベル化が一段と進んでいる。今後は更に、お客様が満足する高品質の製品・サービスの提供と事業活動が及ぼす環境負荷の低減に取り組んでいきたい。



企業の生い立ち

大正8年、下園紙器店として創業して以来、時代の流れと共に幾多の変遷をたどり、多様化するユーザーニーズに対応すべく段ボールの一貫製造、化粧箱の製造、印刷物においては美術オフセット印刷その他各種包装資材等その事業の拡大と内容の充実を図りつつ発展を続けている。



事業者 エス・パックス株式会社
代表者 代表取締役 下園 廣一
設立年月日 昭和28年3月19日
所在地等 〒891-0131
鹿児島市谷山港二丁目2-9
TEL 099-262-1111
FAX 099-262-3896
URL <http://www.s-pax.co.jp/>

事業の種類 ものづくり技術
資本金額 4,000万円
従業員 100名
業 種 パルプ・紙・紙加工品製造業